

就 任 の ご 挨拶



平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

平成 30 年 6 月 13 日の第 27 回通常総会におきまして、日本商品先物取引協会（日商協）の会長に選出され、19 日に就任いたしました山崎恒^{やまざきひさし}でございます。ここに謹んでご挨拶を申し上げます。

同時に再任されました二家副会長、小川副会長、井上専務理事とともに、会長としての職務に誠心誠意取り組む覚悟でございます。

皆様ご存知のとおり、日商協は、商品先物取引法に基づき農林水産大臣及び経済産業大臣から設立の認可を受けた法人であり、商品デリバティブ取引を公正かつ円滑ならしめ、かつ委託者等の保護を図ることを目的としております。

すなわち、商品デリバティブ取引は、金や石油、とうもろこし等の価格変動に対するリスクヘッジ機能のほか、将来の価格発見機能等を果たしており、産業インフラとして不可欠なものですから、これらの取引が公正かつ円滑に行われ、かつ委託者等の保護が図られるようにする必要があります。

そのためには、日商協の主要な業務である、①自主規制に係る事業、②外務員登録・資格試験・研修等に係る事業、③苦情・紛争等の解決に係る事業を、それぞれ着実に実行するとともに、内部管理責任者制度を通じて会員のコンプライアンス水準向上に向け自主的努力を支援するなど、会員の皆様のご意見を反映させつつ、適切に業務を実施してまいりたいと思っております。

また、日商協の会員は、主務大臣の許可を受けた商品先物取引業者でありますから、商品先物取引業が円滑に行えるように環境を整備することは重要であります。そのため、日商協は、主務省と情報交換を行うなど密接な連携を図り、主務省の施策の動向や各種の情報を会員の皆様に適宜提供し、会員の自主的努力の支援を行うなど自主規制機能を強化し、会員の皆様の業務を積極的にサポートしてまいりたいと思っております。

私は前任の荒井会長と同じく裁判官として長年裁判所に勤めた後、公正取引委員会委員を経て、日商協の会長に就任いたしました。商品デリバティブ取引の十分な知識、経験があるわけではございません。そのため至らない点も多々あるかと存じますが、会長の重責を全うすべく職務に打ち込む覚悟でおりますので、荒井前会長時代と同様に、ご指導・ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

最後になりますが、皆様方のご健康とますますのご活躍をお祈りし、就任の挨拶とさせていただきます。

平成 30 年 6 月 19 日

日本商品先物取引協会 会長 山崎恒^{やまざきひさし}